

# 学校経営方針

校長 佐野 友隆

## 「子どもまん中主義」

この言葉はヨーロッパの街づくりから生まれた言葉です。街をつくる時、子どもを中心に考え、街のまん中に学校をつくりました。子どもたちに怪我などがあつたときのために近くに病院を。そして図書館なども近くに建てたのです。そして、そこに行くまでの道の安全を管理するように、ガードレールなどを完備しました。すると、結果的にお年寄りや障がいをもつ方にもすごしやすい街ができたというのです。子ども目線でものを考え、子どものための街作りをすることが、自分たち大人も幸せにしたということから「子どもまん中主義」という言葉となりました。

自分も含めて親である人は、「子ども」の「おかげ」で親になれました。そして教師は子どもがいる「おかげ」で教師であられるし、給料もいただいています。主語を「子ども」に変えて物事を考えていくことで、よりよい教育ができると自分は信じ、この言葉を学校経営の中心にすえています。しかし、これは決して子どもを甘やかすということではありません。与えすぎたり、手をかけすぎたりした子はよい育ち方をしません。

子どものための環境を整えていくこと。その上で「子ども目線」で物事を考えていくこと。これらのことを進めていきたいと考えます。

<町田第一小学校の教育目標に対して>

### 考える子ども

- ・授業の見通しを立てること、振り返りをしっかり行うことで、学びに向かう力をはぐくみます。
- ・クロームブックの活用をさらにはかっています。

### ささえあう子ども

- ・これまでも研究を重ねてきた道徳教育を大切に、「全校道徳」という取組を始めます。

### たくましい子ども

- ・体育の研究を始めます。体力づくりに力を入れます。

コロナ禍で学校に来校いただく機会が減り、情報が入りにくくなっていると考えます。

できるだけ、学校の様子等を「見える化」していきたいと考えています。

- ① 月二回程度「校長室通信」を発行します。デジタル化した通信も想定されますが、「隙間時間」に読んでいただきたいので、紙ベースにて発行します。
- ② HP の充実をはかります。「学校日誌」の毎日の更新は90%以上を目指します。

☆次年度は150周年となります。そこに向けて計画的に取り組んでまいります。

☆本校への教育活動へのご理解とご協力をよろしく願いいたします。